

2018年11月20日
JFE 鋼板 株式会社

JFE 鋼板 全建連と共同で ジャパンホームショーに金属屋根商品を出展

JFE 鋼板株式会社（代表取締役社長：小川満）は「第40回ジャパンホームショー」に全国中小建築工事業団体連合会（全建連）と共同で出展し、金属屋根商品6種類『プレーゲル』、『シングル』、『優雅やね』、『K 太くん』、『立平 333』、『横葺き』の優れた耐久性、耐震性、デザイン性を紹介致しました。ジャパンホームショーへの出展は3年連続になります。

金属屋根は軽量のため地震に強く、兵庫県南部地震や2016年熊本地震を経て着実にシェアを伸ばしてきました。JFE 鋼板の金属屋根は、自社で製造しているフッ素樹脂塗装鋼板を標準採用しているため20年間メンテナンス不要です。色やデザインも豊富なため、新築からリフォーム用途まで多くの住宅に対応でき、来場者の大きな関心を集めました。

また、参考出展として、見る人の目線や角度によって色調が変化する『なでしこカラー®』（2017年度大谷美術館賞受賞）を使用した金属屋根『シングル』や、国内初の縦継縦葺新屋根『ジョイント立平®』など、金属屋根の特徴であるデザイン面、機能面をより追及した商品も紹介しました。

金属屋根の他にも、木造軸組工法の柱や梁等を軽量鉄骨に置き換えた J F E 鋼板独自の人気商品『JFE フレームキット®』や、ZEH・LCCM に最適な『太陽光パネル全面設置システム専用下葺材』など、環境面に配慮した商品の展示も行いました。

視察した小川社長は、「全国中小建築工事業団体連合会を通じて、工務店の皆様のご意見を伺いたい。このような展示会でPRしながらニーズをしっかりと捉えることが、これから金属屋根を拡販していくための重要な手掛かりとなると思う。」と話し、ジョイント立平の展示前で 全建連専務理事の川井 正仁様と固い握手を交わしました。



小川社長と全国中小建築工事業団体連合会 専務理事 川井 正仁様

『備考』

1. 展示会について

展示会名：「第40回 ジャパンホームショー」

会場：東京ビックサイト 東4～6ホール

開催日時：2018年11月20日（火）～11月22日（木） 10：00～17：00

〈参考〉

ジャパンホームショーとは、住まいに関する建材・部材・設備・サービスが一同に会する日本最大規模の専門展示会。計13個の展示会と合同で開催し、東1～8ホール、西1～4ホールまで相互入場可能。全体で1700社以上の企業が出展し、約70,000名の来場を見込んでいる。

2. 展示物について

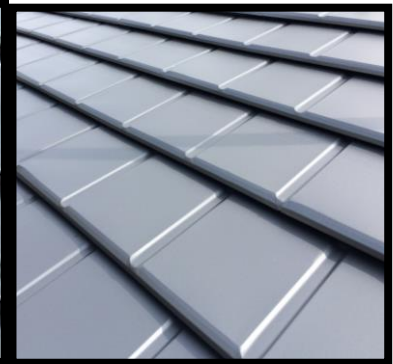
〈金属屋根商品6種類〉



・欧風屋根 プレーゲル



・和風屋根 K太くん



・洋風屋根 優雅やね



・立平 333



・横葺き



・シングル

・金属屋根特徴

①耐久性

ガルバリウム鋼板の下地にフッ素樹脂塗料を塗布。塗膜のひび割れ、剥がれが発生しにくいため、20年間メンテナンスが不要。

②耐震性（軽量）

厚さが0.35～0.5mmと薄く軽量。建物への負担が少なく、重心が低くなるため、地震の際、建物の揺れ巾が小さくなる。

③デザイン性

和風・洋風様々なデザインがある。

塗料の配合次第で、微細な色の表現が出来、カラーバリエーションが豊富。

〈なでしこカラー®〉：参考出展（平成 29 年度大谷美術館賞 受賞）

- ・ 女性を中心となって開発された新意匠性鋼板。光躍感のあるメタリックな塗料により、見る人の視線や、角度によって色調の変化が現れる特殊な鋼板。



〈ジョイント立平®〉：参考出展

- ・ 縦方向に短尺の立平葺をジョイントしていく国内初の新屋根

◇特徴

- ①特殊加工により、縦方向ジョイント部の高い防水性を実現。長尺品同等の緩勾配（0.5 寸）対応が可能
- ②ジョイント部の接合に嵌合方式を採用。現場加工や特別な工具が不要なため、施工が容易。
- ③長さ 2 メートル程度に設定できるため、大型トラックが不要となり、狭小地への搬入が可能
- ④手上げ、瓦上げ機等で屋上まで荷揚げが可能で、クレーンが不要となり、狭小地での施工が可能
- ⑤長さを定尺に設定することで、商品在庫が可能となり、迅速かつフレキシブルな納入体制を構築。
万一の欠品や傷付等のトラブル発生時にもすばやいリカバリー対応が可能



〈太陽光パネル全面設置システム専用下葺材〉

- ・ シャープ株式会社と JFE 鋼板株式会社が共同開発
- ・ 屋根全面に無駄な余白なく、太陽光パネルを設置することが出来、発電量がアップ補助金の対象となる ZEH・LCCM に最適。

ZEH：ネット・ゼロ・エネルギー・ハウスの略。「年間で消費する住宅エネルギー量の収支が概ねゼロ以下」を実現する住宅のこと

LCCM：ライフ・サイクル・カーボン・マイナスの略。住宅の建設・運用・解体・廃棄までの流れで排出する CO2 収支がマイナスになる住宅のこと。



〈JFE フレームキット®〉

- ・ 木造軸組工法の柱、梁などを鉄骨に置き換えたもの。耐震性、耐久性に優れ、設計の自由度が高いシステム鉄骨部材。
- ・ 上下階で柱の位置を自由に決めることができ、お客様のニーズに柔軟に対応できるフリープランシステム。
- ・ 品確法に基づく特別評価認定を取得、劣化対策等級は最高等級 3。高耐久性の亜鉛めっきで 20 年保証。
- ・ 木造の構造材とは違い、シロアリの被害がない。
- ・ 基礎の合理的な配置により基礎掘削残土や現場ゴミも少なく、100%リサイクル可能



3. 全国中小建築工事業団体連合会（全建連）について

- ・ 昭和 46 年に発足した全国の中小工務店を支援するための連合会（通称：全建連。会長：寺井茂幸様）
加盟工務店の行政提携（情報伝達・要請）、経営支援、技能向上・後継者対策等を行っている。
- ・ JFE 鋼板 小川社長と写真撮影を行った川井 正仁様が専務理事を務めている。